

シラバス

科目の基礎情報①												
授業形態	講義	科目名	保健 I									
必修選択	必修	(学則表記)	保健 I									
年次	1年	学科	ヘアメイク科	単位数 1	時間数 30							
使用教材	保健 I			出版社 社)日本理容美容教育センター								
科目の基礎情報②												
授業のねらい	適切な美容を行うために人体の保健と皮膚科学を解剖学的ならびに生理学的に理解し、「美容実習」および「美容の物理化学」と関連させながら知識を習得する。											
到達目標	人体の基礎知識の習得を図ることによって安全で衛生的な美容の施術を実践できる能力を育て、施術依頼者からの質問にも十分に説明することができる。											
評価基準	テスト:50% 小テスト:30% 授業態度:20%											
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者											
関連資格	美容師国家資格											
関連科目	保健 II											
備考	原則、この科目はオンデマンド授業形式にて実施する。											
担当教員	渡邊 一仁		実務経験	<input checked="" type="radio"/>								
実務内容	美容室にて美容師として15年勤務し、大手美容室にて副店長も経験。保健、運営管理の教員資格を有しておりこれらの経験を基に、美容に必要な人体の保健と皮膚科学を教授する。											
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります												
各回の展開												
回数	単元	内容										
1	第1章/頭部、顔部、頸部の体表解剖学	1項 人体各部の名称										
2	第1章/頭部、顔部、頸部の体表解剖学	2項 頭部、顔部、頸部の体表解剖学										
3	第2章/骨格器系	1項 骨の種類と構造 2項 骨の連結・骨格器とそのはたらき										
4	第2章/骨格器系	3項 骨格器とそのはたらき										
5	第3章/筋系	1項 筋の種類とその特徴 2項 主な骨格筋とそのはたらき										
6	第3章/筋系	3項 表情筋と表情運動 4項 理容美容の作業と筋疲労										
7	まとめ	まとめを行う										
8	解説	振り返り・解説										
9	第4章/神経系	1項 神経系の成り立ち										
10	第4章/神経系	2項 中枢神経とそのはたらき 3項 末梢神経とそのはたらき										
11	第5章/感覚器系	1項 視覚 / 2項 聴覚 / 3項 平衡感覚										
12	第5章/感覚器系	4項 味覚 / 5項 嗅覚 / 6項 皮膚感覚										
13	まとめ	まとめを行う										
14	解説	振り返り・解説										
15	総まとめ	総まとめを行う										

16	第6章/血液・循環器系	1項 血液のあらまし
17	第6章/血液・循環器系	2項 血液循環の仕組み
18	第6章/血液・循環器系	3項 血液の循環経路
19	第6章/血液・循環器系	4項 心臓と血管のはたらき 5項 リンパ管系の仕組みとはたらき
20	第7章/呼吸器系	1項 呼吸器系のあらまし 2項 気道
21	第7章/呼吸器系	3項 肺の仕組みとガス交換 4項 呼吸運動
22	まとめ	まとめを行う
23	解説	振り返り・解説
24	第8章/消化器系	1項 消化器系のあらまし
25	第8章/消化器系	2項 消化管の仕組み
26	第8章/消化器系	3項 消化管のはたらき
27	第8章/消化器系	4項 消化と物質代謝
28	まとめ	まとめを行う
29	解説	振り返り・解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①														
授業形態	講義	科目名	文化論 I											
必修選択	必修	(学則表記)	文化論 I											
年次	1年	学科	ヘアメイク科	単位数 1	時間数 30									
使用教材	文化論		出版社	社)日本理容美容教育センター										
科目の基礎情報②														
授業のねらい	美容業界人として必要な理容業・美容業の歴史を学び、創造を広げるエッセンスとなる日本・西洋のファッション文化史の流れを習得する。													
到達目標	美容師国家試験(筆記)に向けて適切な記述ができる。													
評価基準	テスト:50% 課題提出:30% 授業態度:20%													
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者													
関連資格	美容師国家資格													
関連科目	美容技術理論 I・美容技術理論 II													
備考	原則、この科目はオンデマンド授業形式にて実施する。													
担当教員	高橋 朋美	実務経験		<input checked="" type="radio"/>										
実務内容	ヘアサロンにて美容師として5年勤務した実務経験を基に、理容業・美容業の歴史やファッション文化を教授する。													
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります														
各回の展開														
回数	単元	内容												
1	第1章 総論 第1節 総論	教科、授業進行の説明。美容師に求められるものについて。用具の説明。												
2	第4章ファッション文化史西洋編 第1節～第3節 古代エジプト・ギリシャ・ローマ・ケルマンの髪型、化粧、服装について	古代エジプト・ギリシャ・ローマ・ケルマンの髪型、化粧、服装について												
3	第4章ファッション文化史西洋編 第4節中世ヨーロッパ	中世ヨーロッパ、16世紀の髪型・化粧・服装について												
4	第4章ファッション文化史西洋編 第5節近世 I (16世紀) 第6節近世 II (17世紀)	16世紀、17世紀の髪型・化粧・服装について												
5	第4章ファッション文化史西洋編 第7節近世 III (18世紀)	18世紀の髪型・化粧・服装について												
6	第4章ファッション文化史西洋編 第8節近代 I (18世紀末～19世紀初め) 第9節近代 II (19世紀)	18世紀、19世紀の髪型・化粧・服装について												
7	第4章ファッション文化史西洋編 第10節現代 I (1910～1920年代) 第11節現代 II (1930～1940年代前半)	1910～1940の髪型・化粧・服装について												
8	テスト アクティブラーニング	テスト、アクティブラーニング												
9	第4章ファッション文化史西洋編 第12節現代 III (1940後半～1950年代)	1940～1950の髪型・化粧・服装について												
10	第4章ファッション文化史西洋編 第13節現代 IV (1960年代)	1960の髪型・化粧・服装について												
11	第4章ファッション文化史西洋編 第14節現代 V (1970年代)	1970の髪型・化粧・服装について												
12	第5章 礼装の種類 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	礼装について												
13	第4章ファッション文化史西洋編 第15節現代 VI (1980年代)第16節現代 VII (1990～2010年代)	1980～2010の髪型・化粧・服装について												
14	総まとめ	総まとめを行う												
15	テストと解説	テストと解説を行う												

16	第2章 日本の美容業の歴史 第1節～第2節	第1節理容業・美容業の発生第2節江戸時代の理容業・美容業
17	第2章 日本の美容業の歴史 第3節～第4節	第3節近代の理容業・美容業第4節現代の理容業・美容業
18	第3章ファッショング文化史日本編 第1節 繩文・弥生・古墳	縩文・弥生・古墳時代の髪型・化粧・服装について
19	第3章ファッショング文化史日本編 第2節 古代(飛鳥・奈良・平安時代)	古代の髪型・化粧・服装について
20	テスト 第3章ファッショング文化史日本編 第3節 第4節	テストと解説、中世・近世Ⅰの髪型・化粧・服装について
21	第3章ファッショング文化史日本編 第5節 近世Ⅱ(江戸時代)	江戸時代の女性の髪型、化粧について
22	第3章ファッショング文化史日本編 第5節 近世Ⅱ(江戸時代)	江戸時代の男性の髪型、服装について
23	第3章ファッショング文化史日本編 第6節 近代(明治・大正・昭和20年まで)	明治の髪型・服装・化粧について
24	第3章ファッショング文化史日本編 第6節 近代(明治・大正・昭和20年まで)	大正、昭和(戦前)の髪型・服装・化粧について
25	テスト 第3章ファッショング文化史日本編 第6節 近代(明治・大正・昭和20年まで)	テストと解説、明治、大正、昭和(戦前)の復習
26	第3章ファッショング文化史日本編 第7節 現代Ⅰ(1945～1950年代)	昭和(戦後)の髪型・服装・化粧について
27	第3章ファッショング文化史日本編 第8節 現代Ⅱ(1960～1970年代)	1960年代の髪型・化粧・服装について
28	第3章ファッショング文化史日本編 第8節 現代Ⅱ(1960～1970年代)	1970年代の髪型・化粧・服装について
29	テスト解説 第3章ファッショング文化史日本編 第9節 第10節	1980～2000年代の髪型・化粧・服装について
30	テスト、総まとめ	テスト、総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容技術理論 I		
必修選択	必修	(学則表記)	美容技術理論 I		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科		3 90
使用教材	美容技術理論 I			出版社	社)日本理容美容教育センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界で活躍していくために、美容全般の技術と理論について習得する。		
到達目標	美容師国家試験(筆記)に向けて適切な記述ができる。		
評価基準	テスト:50% 小テスト:30% 授業態度:20%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家資格		
関連科目	美容技術理論 II		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	石田 祥子	実務経験	○
実務内容	ヘアサロンにて美容師として6年勤務をした実務経験を基に、美容全般の技術と理論を教授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション <序章 美容技術理論を学ぶにあたって>	※ 美容師免許を所得するまでの必要性、取得までの流れを説明 ・美容理論について・美容技術者としての心構え・安定した姿勢、作業点と姿勢 ・作業点と姿勢・力の配分と姿勢・人体各部の名称・美容における頭部の区分
2	<第1章 美容用具> 1. 美容技術における用具 2. コーム 3. ブラシ 4. シザーズ	・美容の道具、器具、機械、取り扱い方 ・コームの種類と各部の名称、選定法、手入れ法・ブラシの種類、選定法と手入れ法 ・シザーズの種類、各部の名称、選定法と手入れ法
3	<第1章 美容用具> 5. レザー 6. ピン類、ヘアクリップ 7. ロッド 8. ローラー	・いろいろな太さのローラー・ホットカーラー(ローラー) ・レザーの種類と各部の名称、刃線の形態と力のかかり方、選定法と手入れ法 ・ヘアピンのいろいろ・ロッドの種類
4	<第1章 美容用具> 9. ヘアアイロン 10. ヘアドライヤー 11. ヘアスチーマー 12. 遠赤外線機	・ヘアアイロンの種類、各部の名称、選定法と手入れ法 ・ヘアドライヤーの種類・構造・タービネートタイプライヤーの構造 ・ヘアスチーマーの選定法・遠赤外線機の役割
5	<第2章 シャンプーイング> 1. シャンプーイング総論 2. サイドシャンプー 3. パックシャンプー	・シャンプーイングの目的、施術の内容による目的の違い、メカニズム ・シャンプー剤の成分、種類・シャンプーイングの際の注意・シャンプー技術のプロセス ・ブランシング・ファースト、セカンドシャンプー・パックシャンプーの手順、指の動き
6	<第2章 シャンプーイング> 4. リンス、コンディショナー・トリートメント	・リンス、コンディショナー、トリートメントの役割、違い、成分 ・リンスの目的、種類、技術・コンディショナーの目的 ・ヘアトリートメントの目的、種類技術の一例
7	<第2章 シャンプーイング> 5. スキャルプトリートメント 6. ヘッドスパ	・スキャルプトリートメントの目的、要素、種類・頭皮のトラブルのいろいろ ・育毛剤の成分とはたらき・ノーマルスキャルプトリートメント技術の一例 ・スキャルプマッサージ技術の目的と手順 ・ヘッドスパのプロセス、リラクセーションマッサージ
8	前期まとめ	まとめを実施し理解等の確認【範囲:序章～第2章】
9	<第5章 パーマネントウェーピング> 1. パーマネントウェーブの歴史と現在 2. パーマネントウェーブの理論 3. パーマ剤の分類	・パーマネントウェーブをはじめとする美容関係の歴史・毛髪の構造について ・ウェーブが形成される仕組み・パーマ剤の分類、種類
10	<第5章 パーマネントウェーピング> 4. パーマ剤に関する注意事項 5. パーマネントウェーブ技術	・使用前、操作中に関する注意事項 ~ スタイリング
11	<第5章 パーマネントウェーピング> 6. ウィンディングのバリエーション 7. 縮毛矯正(高温整髪用アイロン使用)	・ワインディングにおける応用 I ~ カウンセリング(フレーン&仕上げ)
12	<第3章 ヘアデザイン> 1. 美容とデザイン	・錯覚現象を美容に生かそう・デザインの要素
13	<第3章 ヘアデザイン> 1. 美容とデザイン	・デザインの原理
14	前期期末まとめ	まとめを実施し理解等の確認【範囲:第5章・第3章】
15	総合授業	総まとめを行う

16	<第4章 ヘアカッティング> 1. ヘアカッティングとは 2. シザーズとレザーの扱い方 3. 美容刃物 4. ヘアカッティングの正しい姿勢	・シザーズ、レザーの持ち方等・刃物の材質、材料、正しい姿勢の基本
17	<第4章 ヘアカッティング> 5. プロッキング 6. ヘアカッティングの基礎理論 7. ベーシックなカット技法	・頭部の基礎分割線・基準となる頭部のポイント、スライスの種類・バネルと頭皮の角度・毛先が集まる位置とカットラインの関係・バネルの幅や長さとカットラインの関係・バネルの角度とシルエットの関係・ラインの設定法 ・ワンレンジスカット・グラデーションカット・レイヤーカット・セイムレンジスカット
18	<第4章 ヘアカッティング> 8. シザーズによるカット技法 9. レザーによるカット技法	・シザーズによるカット技法、ストロークの分類 ・レザーによるカット技法のいろいろ、テーパーカットの分類
19	後期中間まとめ	まとめを実施し理解等の確認【範囲: 第4章】
20	<第6章 ヘアセッティング> 1. ヘアカッティングとは 2. ヘアバーティング 3. ヘアシェーピング	・オリジナルセットの基本的な要 ～ ストランドシェーブ、フィンガーウエーブ時の持ち方
21	<第6章 ヘアセッティング> 4. ヘアカーリング	・オリジナルセットの基本的な要 ～ ストランドシェーブ、フィンガーウエーブ時の持ち方 ・カール各部の名称、分類 ～ クロッキノールカール技術の一例
22	<第6章 ヘアセッティング> 5. ヘアウエーピング 6. ローラーカーリング	・ヘアウエーブの名称、分類 ～ ローラーウエーブ ・ベースの幅と厚さ
23	<第6章 ヘアセッティング> 7. ブロードライ 8. アイロンセッティング	・ハンドドライヤーとプランの基本操作 ・アイロンの持ち方
24	9. バックコーミング 10. アップスタイル 11. ウィッグとヘアピース	・バックコーミング・アップスタイル ・ウィッグ、ヘアピース手入れ法
25	<第7章 ヘアカラーリング> 1. ヘアカラーリング概要 2. ヘアカラーの種類 3. ヘアカラーのタイプ別特徴 4. 染毛のメカニズム	・ヘアカラーリングの歴史、種類 ～ タイプ別染毛メカニズム
26	<第7章 ヘアカラーリング> 4. 染毛のメカニズム 5. 色の基本 6. 毛髪のレベルとアンダートーン	・ヘアカラーの色選び～アンダートーン
27	<第7章 ヘアカラーリング> 7. パッチテスト 8. 染毛剤使用時の注意 9. ヘアカラーリングの道具 10. 酸化染毛剤の技術手順 11. 酸性染毛剤の技術手順 12. ヘアブリーチ	・染毛剤と皮膚炎 ～ ～ヘアカラーリング専用の施術道具 ・パッチテスト ～ ～ヘアブリーチのプロッキング一例
28	後期期末まとめ	まとめを実施し理解等の確認【範囲: 第4章・第7章】
29	まとめ・解説	まとめ・解説を行う
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①										
授業形態	講義	科目名	衛生管理 I							
必修選択	必修	(学則表記)	衛生管理 I							
開講				単位数	時間数					
年次	1年	学科	ヘアメイク科		1 30					
使用教材	衛生管理		出版社	社)日本理容美容教育センター						
科目の基礎情報②										
授業のねらい	公衆衛生について学び、感染症と環境衛生、消毒の義務や目的など、サロンにおける衛生管理を学ぶ中で、衛生面について理解する。									
到達目標	不特定多数の人の皮膚や毛髪に直接触れ、刃物や薬剤などを用いて業務をするため、個人としてだけではなく、業を通して公衆衛生・環境衛生を業務に関連付けて説明することができる。									
評価基準	テスト:50% 小テスト:30% 授業態度:20%									
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者									
関連資格	美容師国家資格									
関連科目	衛生管理 II									
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。									
担当教員	鈴木 智子			実務経験	○					
実務内容	臨床獣医師として勤務した実務経験を基に、美容師国家試験に必要な衛生管理の知識を教授する。									
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります										
各回の展開										
回数	単元	内容								
1	第1編 公衆衛生 1章公衆衛生の概要	美容師免許を所得するまでの必要性、取得までの流れを説明 健康の定義、公衆衛生の歴史、保健所の役割								
2	第1編 公衆衛生 2章保健	「母子保健」・「成人・高齢者保健」・「精神保健」								
3	第1編 公衆衛生 2章保健	「母子保健」・「成人・高齢者保健」・「精神保健」								
4	第1編 公衆衛生 2章保健	「母子保健」・「成人・高齢者保健」・「精神保健」								
5	第2編 環境衛生 1章環境衛生の概要・空気環境	環境衛生の内容・目的・意義・活動 空気の成分と有毒ガス 温度・湿度・風と健康								
6	第2編 環境衛生 1章環境衛生の概要・空気環境	環境衛生の内容・目的・意義・活動 空気の成分と有毒ガス 温度・湿度・風と健康								
7	第2編 環境衛生 1章環境衛生の概要・空気環境	環境衛生の内容・目的・意義・活動 空気の成分と有毒ガス 温度・湿度・風と健康								
8	第2編 環境衛生 1章衣服住居の衛生・上下水道と廃棄物	衣服住居の衛生・上下水道と廃棄物								
9	第2編 環境衛生 1章衣服住居の衛生・上下水道と廃棄物	衣服住居の衛生・上下水道と廃棄物								
10	第2編 環境衛生 1章衣服住居の衛生・上下水道と廃棄物	衣服住居の衛生・上下水道と廃棄物								
11	第2編 環境衛生 1章衛生害虫とネズミ・環境保全	衛生害虫とネズミ・環境保全								
12	第2編 環境衛生 1章衛生害虫とネズミ・環境保全	衛生害虫とネズミ・環境保全								
13	まとめ	まとめを実施する。								
14	解説	振り返り・解説								
15	総まとめ	総まとめを行う								

16	第3編 感染症 1章 感染症の概要	美容師免許を所得するまでの必要性、取得までの流れを説明 健康の定義、公衆衛生の歴史、保健所の役割
17	第3編 感染症 1章 感染症の総論①	人と感染症・感染症の歴史・法律、感染症の分類
18	第3編 感染症 1章 感染症の総論①	人と感染症・感染症の歴史・法律、感染症の分類
19	第3編 感染症 1章 感染症の総論②	病原微生物の種類と構造・環境の影響
20	第3編 感染症 1章 感染症の総論②	病原微生物の種類と構造・環境の影響
21	第3編 感染症 1章 感染症の総論③	感染症の予防免疫と予防接種・予防のための3原則
22	第3編 感染症 1章 感染症の総論③	感染症の予防免疫と予防接種・予防のための3原則
23	第3編 感染症 2章 感染症の各論①	空気・飛沫、飲食物を介して感染する 感染症の症状、感染経路、予防対策
24	第3編 感染症 2章 感染症の各論①	空気・飛沫、飲食物を介して感染する 感染症の症状、感染経路、予防対策
25	第3編 感染症 2章 感染症の各論②	血液等、動物・節足動物を介して感染する 感染症の症状、感染経路、予防対策
26	第3編 感染症 2章 感染症の各論②	血液等、動物・節足動物を介して感染する 感染症の症状、感染経路、予防対策
27	第3編 感染症 2章 感染症の各論③	具体的な対策の例
28	まとめ	まとめを実施する。
29	解説	振り返り・解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習 I -A		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習 I -A		
		開講			単位数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	3	時間数 90
使用教材	ワインディング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート			出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験第2課題ワインディング技術について基礎を理解し習得する。		
到達目標	美容師国家試験第2課題ワインディング技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す。		
評価基準	総まとめ40% まとめ30% 提出物20% 授業態度10%		
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家資格(実技)		
関連科目	美容技術理論 I		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	永島 秀樹、他3名	実務経験	○
実務内容	ヘアサロンにて美容師として19年勤務をした実務経験を基に、ワインディング技術の基礎を教授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	新入生オリエンテーション	授業目的、評価基準、授業ルール説明、教材確認(道具名称・扱い方・管理方法)、机上セッティング ワインディングの取り扱い、コームワーク、縦スライス、横スライス、二重ゴム、分け取り、プロッキング構成習得 国家試験衛生
2	ワインディング	コームワーク、縦スライス、横スライス、二重ゴム、分け取り、プロッキング構成習得、復習、強化、 プロッキング計測10分
3	ワインディング	プロッキング構成習得、復習、強化、プロッキング計測10分～7分、上巻き下巻き導入
4	ワインディング	プロッキング構成、計測7分～5分、上巻き下巻き復習、センター導入、習得
5	ワインディング	プロッキング構成、計測5分、上巻き、下巻き、センター巻き、復習、強化
6	ワインディング まとめ	プロッキングまとめを実施する 計測5分、コームで取るプロッキング(12ブロック)導入、計測5分、 センター強化、計測センター15分、フロント導入、構成
7	ワインディング	プロッキング(コーム、12ブロック)計測4分、センター強化、計測センター12分～10分、フロント復習、強化、 計測1本1分、両バックサイド導入
8	ワインディング	プロッキング(コーム、12ブロック)計測4分、センター強化、計測センター10分～7分、 フロント、バックサイド復習、強化、計測1本1分～45秒、両ネーブ導入
9	ワインディング	プロッキング(コーム、12ブロック)計測4分、センター計測7分、フロント、両バックサイド復習、強化、 計測1本45秒、両ネーブ復習、強化、サイド導入
10	ワインディング	プロッキング(コーム、12ブロック)計測4分～3分、センター計測7分、フロント、両バックサイド強化、 計測1本40秒～35秒、両ネーブ、サイド復習、強化
11	ワインディング	プロッキング(コーム、9ブロック)計測4分～3分、センター計測7分～6分30秒、フロント、両バックサイド強化、 計測35秒～30秒、全頭巻き計測35分
12	ワインディング	プロッキング(コーム、9ブロック)計測4分～3分、センター計測6分30秒、フロント、両バックサイド計測30秒、 全頭巻き計測35分～30分
13	ワインディング	プロッキング(コーム、9ブロック)計測3分、センター計測6分30秒、両バックサイド計測30秒～27秒、 全頭巻き計測35分～30分
14	ワインディング 総まとめ	ワインディング総まとめを実施する 計測プロッキング(コーム、9ブロック)3分、全頭巻き30分
15	総合授業	前期振り返り

シラバス

科目的基礎情報①														
授業形態	実技	科目名	美容実習 I -B											
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習 I -B											
開講				単位数	時間数									
年次	1年	学科	ヘアメイク科		3 90									
使用教材	シャンプー教材一式 美容技術理論 I ヘアアレンジ一式、ヘアアレンジテキスト			出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター ユアサポート									
科目的基礎情報②														
授業のねらい	【シャンプー】シャンプーイングの目的と頭皮毛髪の基本的知識を習得し、施術内容によるシャンプーイングの違いを知る 【ヘアアレンジ】頭部の名称からヘアアレンジの基礎技術・現場での基礎技術を出来る様にする													
到達目標	【シャンプー】 シャンプーイングの目的を理解しシャンプー技術のプロセスを身に付ける 【ヘアアレンジ】 ブラッシング・ピニングのヘアアレンジの基本テクニックを理解する。 編み込みやコテの使用等のヘアアレンジが出来る様になる。就職活動に必要なセルフテクニックを知る。													
評価基準	・シャンプー50%(総まとめ25% まとめ15% 授業態度10%) ・ヘアアレンジ50%(実技テスト30%、授業意欲20%)													
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者													
関連資格														
関連科目	美容技術理論 I 、テクニカルヘアメイク													
備考	・原則、この科目は対面授業形式で実施する。 ・この科目は「シャンプーイング」「ヘアアレンジ」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。													
担当教員	石田 祥子、他1名	実務経験		<input checked="" type="radio"/>										
実務内容	ヘアサロンにて美容師として6年勤務をした実務経験を基に、シャンプーイングやヘアアレンジの基礎を教授する。													
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります														
各回の展開【シャンプーイング】														
回数	単元	内容												
1	新入生オリエンテーション	授業目的、評価基準、授業ルール説明、教材確認(道具名称・扱い方・管理方法) シャンプー台の利用の仕方、シャンプー知識												
2	シャンプーイング	ブラッシング、シャワーヘッドの使用方法、シャンプープロセスの理解												
3	シャンプーイング	シャンプーのプロセスの復習												
4	シャンプーイング	プレシャンプー												
5	シャンプーイング	シャンプー手順 1シャンプー												
6	シャンプーイング	1シャンプー、リンス、コンディショナー、トリートメント												
7	シャンプーイング	1シャンプー、トリートメントプロセス												
8	シャンプーイング まとめ	シャンプーイング まとめを実施する 1シャンプー～トリートメントプロセス 振り返り												
9	シャンプーイング	2シャンプー、スキャルプトリートメント												
10	シャンプーイング	2シャンプー、スキャルプトリートメント												
11	シャンプーイング	2シャンプー、スキャルプトリートメント・ヘッドスパ(プロセス)												
12	シャンプーイング 総まとめ	シャンプーイング 総まとめを実施する 2シャンプー、スキャルプトリートメント 振り返り												
13	シャンプーイング	ヘッドスパ(リラクゼーションマッサージ)												
14	シャンプーイング	ヘッドスパ(リラクゼーションマッサージ)												
15	総合授業	シャンプー技術振り返り												

各回の展開【ヘアアレンジ】

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 毛髪頭部名称、ブラッシング	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認、毛髪知識、頭部名称
2	ブロッキング ポニーテール	ブロッキング、ポニーテール導入
3	ポニーテール 三つ編み	ポニーテール反復練習 三つ編み導入
4	ポニーテール 編み込み・フィッシュボーン	ポニーテール反復練習 編み込み・フィッシュボーン導入
5	ポニーテールテスト スタイル作り①	ポニーテールテスト、振り返り 学んだテクニックを使いスタイルを作る
6	スタイル作り②	学んだテクニックを使いスタイルを作る、振り返り
7	ホットカーラー	ホットカーラー導入
8	ホットカーラー ビニング	ホットカーラー反復練習 ビニング導入
9	ホットカーラー／ビニング／逆毛	ホットカーラー、ビニング反復練習 逆毛導入
10	ホットカーラー／ビニング／逆毛／シニヨンスタイル 導入	ホットカーラー、ビニング、逆毛反復練習、シニヨンスタイル反復練習
11	アイロン シニヨンスタイル	アイロン導入 シニヨンスタイル反復練習
12	アイロン シニヨンスタイルテスト	アイロン反復練習 シニヨンスタイルテスト
13	スタイル作り③	学んだテクニックを使いスタイルを作る、振り返り
14	テスト 相モデルスタイル作り	実技テスト 人頭を使ってスタイルをつくる
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習 I -C		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習 I -C		
	開講			単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	3	90
使用教材	カッティング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート メイク道具一式 メイクアップテキストベーシック(デジタルテキスト)		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	【国家試験カット】美容師国家試験第1課題レイヤーカットの構成、基礎知識を習得する 【トレンドメイク】ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする		
到達目標	【国家試験カット】国家試験第1課題レイヤーカット技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す 【トレンドメイク】ショーメイク、スチール撮影(メイク技術の基礎を理解し、技術ができるようになる)		
評価基準	美容実習50%(総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5%) トレンドメイク50%(実技テスト30%、授業意欲20%)		
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家資格		
関連科目	美容技術理論 I・美容実習 I -D カラー＆ファッショニ、ベーシック・パーソナルメイク・テクニカルヘアメイク		
備考	・原則、この科目は対面授業形式で実施する。 ・この科目は「国家試験カット」「トレンドメイク」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。		
担当教員	野口 知子、他1名	実務経験	○
実務内容	ヘアサロンにて美容師として10年勤務をした実務経験を基に、美容師国家試験のレイヤーカット技術について基礎を教授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【国家試験カット】

回数	単元	内容
1	新入生オリエンテーション	授業目的、評価基準、授業ルール説明、教材確認(道具名称・扱い方・管理方法)机上セッティング シザーの開閉、シザーワーク、コームワーク、姿勢、ボディポジション 国家試験衛生
2	国家試験カット	プロッキング、各ブロックの名称、プロッキングの取り方、プロッキング計測
3	国家試験カット	プロッキング(取り方、計測)、ヘムライン
4	国家試験カット	プロッキング(取り方、計測)、ヘムライン、第3ブロック
5	国家試験カット	プロッキング計測、第3ブロック、第2ブロック
6	国家試験カット まとめ	プロッキング計測まとめを実施する、第3ブロック、第2ブロック
7	国家試験カット	第2ブロック、第1ブロック
8	国家試験カット	第1ブロック、バックのカット修正
9	国家試験カット	バックのカット修正、フェイスライン、フロント
10	国家試験カット	フェイスライン、フロント、サイド
11	国家試験カット	サイド、チェックカット、カッティング手順再確認、計測
12	国家試験カット	チェックカット、国家試験カット手順再確認、計測
13	国家試験カット	国家試験カット手順再確認、計測
14	国家試験カット 総まとめ	国家試験カット総まとめを実施する 振り返り
15	総合授業	前期振り返り

各回の展開【トレンドメイク】

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認 ベースメイク導入、実践
2	メイクの歴史①	古代～中世～近代のメイクについて (時代背景や特徴について)
3	メイクの歴史②	年代別 20、30、40
4	年代別のメイク①	年代別 50
5	年代別のメイク②	年代別 60
6	年代別のメイク③	年代別 70、80
7	年代別のメイク④	年代別 90、2000
8	年代別のメイク⑤	年代別の技術まとめ フルメイクテスト、振り返り
9	スチールメイク①	スチールメイク(トレンド)制作(導入、実践) テーマに合わせて行う
10	スチールメイク②	スチールメイク(トレンド)制作(実践) テーマに合わせて行う
11	スチールメイク③	スチールメイク(トレンド)制作(実践) テーマに合わせて行う
12	スチールメイク④	スチールメイク(トレンド)制作(テスト) テーマに合わせて行う
13	スチールメイク⑤	テーマに合わせた作品制作
14	スチールメイク⑥	テーマに合わせた作品制作
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①														
授業形態	実技	科目名	美容実習 I -D											
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習 I -D											
開講				単位数	時間数									
年次	1年	学科	ヘアメイク科		3 90									
使用教材	オールウェーブ教材一式 カッティング教材一式 衛生教材一式 改正美容師技術試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナルマニュアル 美容実習ノート			出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター									
科目の基礎情報②														
授業のねらい	美容師国家試験第1課題カッティングの構成を理解し、国家試験規定時間内での合格基準の技術を習得する 美容師国家試験第2課題オールウェーブ技術について基礎を理解し習得する													
到達目標	国家試験第1課題レイヤーカット技術、第2課題オールウェーブ技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す													
評価基準	オールウェーブ：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5% 国家試験カット：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5%													
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者													
関連資格	美容師国家資格(実技)													
関連科目	美容技術理論 I ・美容実習 I -C													
備考	・原則、この科目は対面授業形式で実施する。 ・この科目は「オールウェーブセッティング」「国家試験カット」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。													
担当教員	永島 秀樹、他2名	実務経験		<input checked="" type="radio"/>										
実務内容	ヘアサロンにて美容師として19年勤務をした実務経験を基に、美容師国家試験のオールウェーブ技術について基礎を教授する。													
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります														
各回の展開【オールウェーブセッティング】														
回数	単元	内容												
1	新入生オリエンテーション	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 教材確認(教材の名称、扱い方、管理方法)、ウイッグ事前仕込み(カット)												
2	オールウェーブセッティング	ウイッグ事前仕込み(カット、パーマ)												
3	オールウェーブセッティング	ウイッグ事前仕込み(カット、パーマ)												
4	オールウェーブセッティング	ウイッグ事前仕込み(カット、パーマ)机上セッティング、道具確認 7段構成の展開図及び構成完成図の手順確認、ローション塗布、ウェーブ基本導入												
5	オールウェーブセッティング	ローション塗布、ウェーブ基本導入、ウェーブ、リッジ復習、強化 1段目馬蹄シェーブ、スカルプチュアカール(スライス、手順、ピニング)												
6	オールウェーブセッティング	ウェーブ、リッジ復習、強化、1段目馬蹄シェーブ、スカルプチュアカール(スライス、手順、ピニング)2段目ウェーブ、リッジ導入												
7	オールウェーブセッティング	1段目馬蹄シェーブ、スカルプチュアカール(スライス、手順、ピニング)、計測7分 2段目ウェーブ、リッジ復習、強化 3段目導入(ウェーブ、リッジ、スカルプチュアカール)												
8	オールウェーブセッティング	1段目馬蹄シェーブ、スカルプチュアカール(スライス、手順、ピニング)、計測7分～5分 2段目ウェーブ、リッジ復習、強化、計測7分～5分 3段目ウェーブ、リッジ、スカルプチュアカール復習、強化												
9	オールウェーブセッティング	1段目馬蹄シェーブ、スカルプチュアカール(スライス、手順、ピニング)、計測7分～5分 2段目ウェーブ、リッジ復習、強化、計測7分～5分 3段目ウェーブ、リッジ、スカルプチュアカール復習、強化、計測10分～8分												
10	オールウェーブセッティング	1段目馬蹄シェーブ、スカルプチュアカール(スライス、手順、ピニング)、計測5分 2段目ウェーブ、リッジ復習、強化、計測5分 3段目ウェーブ、リッジ、スカルプチュアカール復習、強化、計測10分～8分												
11	オールウェーブセッティング まとめ	オールウェーブセッティングまとめを実施する 1段目～3段目計測18分 右側、左側ウェーブ、リッジ、くり抜き導入												
12	オールウェーブセッティング	1～3段目構成、計測18分～15分 右側、左側ウェーブ、リッジ、くり抜き復習、強化												
13	オールウェーブセッティング	1～3段目構成、計測15分 右側、左側ウェーブ、リッジ、くり抜き復習、強化、計測左右各6分～5分												
14	オールウェーブセッティング まとめ	オールウェーブセッティングまとめを実施する 1～3段目、右側・左側ウェーブ、リッジ、くり抜き計測27分												
15	総合授業	後期振り返り												

各回の展開【国家試験カット】

回数	単元	内容
1	新入生オリエンテーション	授業目的・評価基準・授業ルール説明、教材確認(道具名称・扱い方・管理方法)、机上セッティング 前期再確認、シザーの持ち方、開閉、シザーワーク、コームワーク、姿勢、ボディポジション、カッティング手順再確認 国家試験衛生
2	国家試験カット	カッティング手順再確認(手順、ボディポジション、チェックカット)計測30分
3	国家試験カット	カッティング手順再確認、計測(カッティングのみ)18分～16分 (チェックカット込み)22分～20分
4	国家試験カット	カッティング手順再確認(手順、ボディポジション、チェックカット)計測25分
5	国家試験カット	カッティング手順再確認(手順、ボディポジション、チェックカット)計測25分
6	国家試験カット	カッティング手順再確認(手順、ボディポジション、チェックカット)計測25分
7	国家試験カット まとめ	カッティングまとめを実施する 計測25分
8	国家試験カット	カッティング手順再確認、計測25分～20分
9	国家試験カット	カッティング手順再確認、計測25分～20分
10	国家試験カット	カッティング手順再確認、計測(カッティングのみ)20分
11	国家試験カット	カッティング手順再確認、計測(カッティングのみ)20分～18分
12	国家試験カット	カッティング手順再確認、計測(カッティングのみ)18分 (チェックカット込み)22分～20分
13	国家試験カット 総まとめ	カッティング総まとめを実施する 計測20分
14	国家試験カット	カッティング手順再確認、計測(カッティングのみ)18分～16分 (チェックカット込み)22分～20分
15	総合授業	後期振り返り

シラバス

科目の基礎情報①													
授業形態	実技	科目名	美容実習 I -E										
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習 I -E										
年次	1年	学科	ヘアメイク科	単位数 3	時間数 90								
使用教材													
	ワインディング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート メイク道具一式 メイクアップテキストベーシック(デジタルテキスト)	出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター ユアサポート										
科目の基礎情報②													
授業のねらい	【ワインディング】美容師国家試験第2課題ワインディング技術を試験時間内に巻くことができ、国家試験レベルの技術を習得する 【トレンドメイク】ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする												
到達目標	【ワインディング】美容師国家試験第2課題ワインディング技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す 【トレンドメイク】ショーメイク・スチール撮影/メイク技術の基礎を理解し、技術ができるようになる												
評価基準	ワインディング: 総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5% トレンドメイク: 50%(実技テスト20%、提出物15% 授業意欲15%)												
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者												
関連資格	美容師国家資格(実技)												
関連科目	【ワインディング】美容実習 I -A、美容技術理論 I 【トレンドメイク】カラー＆ファッショ、ベーシック・パーソナルメイク、テクニカルヘアメイク												
備考	・原則、この科目は対面授業形式で実施する。 ・この科目は「ワインディング」「トレンドメイク」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。												
担当教員	永島 秀樹、他2名	実務経験	<input checked="" type="radio"/>										
実務内容	ヘアサロンにて美容師として19年勤務をした実務経験を基に、美容師国家試験のワインディング技術について必要な実技を教授する。												
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります													
各回の展開【ワインディング】													
回数	単元	内容											
1	新入生オリエンテーション	この授業の目的、評価基準、マナールール説明、教材確認(扱い方、管理方法) 前期復習											
2	ワインディング	ブロッキング3ブロック1分、全頭巻き計測25分											
3	ワインディング	ブロッキング3ブロック1分、全頭巻き計測25分											
4	ワインディング	ブロッキング3ブロック1分、全頭巻き計測23分											
5	ワインディング	ブロッキング3ブロック1分、全頭巻き計測23分											
6	ワインディング まとめ	ブロッキング3ブロック1分、全頭巻き計測23分 まとめを実施する											
7	ワインディング	ブロッキング込み全頭計測22分											
8	ワインディング	ブロッキング込み全頭計測22分											
9	ワインディング	ブロッキング込み全頭計測20分											
10	ワインディング	ブロッキング込み全頭計測20分											
11	ワインディング	ブロッキング込み全頭計測20分											
12	ワインディング	ブロッキング込み全頭計測20分											
13	ワインディング 総まとめ	ブロッキング込み全頭計測20分 総まとめを実施する											
14	ワインディング	ブロッキング込み全頭計測20分											
15	総合授業	後期振り返り											

各回の展開【トレンドメイク】		
回数	単元	内容
1	ショーメイク①	立体感や骨格をとらえたメイク(導入、実践)
2	ショーメイク②	Wラインのを使ったメイク(導入、実践)
3	ムービーメイク①	ムービーで行うメイク
4	ムービーメイク②	ムービーで行うメイク
5	コンテストメイク①	テーマに合わせたメイクを行う
6	コンテストメイク②	テーマに合わせたメイクを行う
7	作品作り①	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
8	作品作り②	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
9	スチールメイク①	テーマに合わせた作品制作に向けてのメイク
10	スチールメイク②	テーマに合わせた作品制作に向けてのメイク
11	スチールメイク③	テーマに合わせた作品制作に向けてのメイク
12	テスト	作品作りに合わせて、実技テストを行う
13	作品作り④	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
14	作品作り⑤	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①										
授業形態	実習	科目名	美容実習 I -F							
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習 I -F							
年次	1年	学科	ヘアメイク科	単位数 2	時間数 60					
使用教材	なし		出版社	なし						
科目の基礎情報②										
授業のねらい	美容室として現場で求められる資質や運営方法を具体的に理解する。									
到達目標	社会人としてマナーや敬語を使用することができる。 スタッフ間のスムーズな報告連絡相談を行うことができる。									
評価基準	企業側評価60% 学校側評価40%(ビジネスマナー20%・各コース該当項目20%)									
認定条件	・出席が総時間数の50時間以上の者 ・成績評価が2以上の者									
関連資格										
関連科目	就職対策 I ・ビジネスマナー									
備考	原則、この科目は現場での実習形式にて実施する。									
担当教員	衛藤 薫		実務経験	○						
実務内容	美容師として12年勤務をした実務経験を基に、施設実習中の学生及び企業様の支援を行う。									
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります										
各回の展開										
回数	単元	内容								
1	施設実習	施設実習								
2	施設実習	施設実習								
3	施設実習	施設実習								
4	施設実習	施設実習								
5	施設実習	施設実習								
6	施設実習	施設実習								
7	施設実習	施設実習								
8	施設実習	施設実習								
9	施設実習	施設実習								
10	施設実習	施設実習								
11	施設実習	施設実習								
12	施設実習	施設実習								
13	施設実習	施設実習								
14	施設実習	施設実習								
15	施設実習	施設実習								

シラバス

科目の基礎情報①														
授業形態	講義	科目名	ビジネスマナー											
必修選択	選択	(学則表記)	ビジネスマナー											
開講				単位数	時間数									
年次	1年	学科	ヘアメイク科	1	30									
使用教材	サービス接遇検定公式テキスト3級 サービス接遇検定実問題集3級 就職ハンドブック			出版社	早稲田教育出版									
科目の基礎情報②														
授業のねらい	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など社会人としての考え方、ルールやマナーを身につける													
到達目標	サービス接遇検定3級に合格する。 美容の現場で敬語の使い方ができるようになる。社会人としてのマナーを身につける。													
評価基準	【前期評価】テスト50%、課題・提出物30% 授業態度等20% 【後期評価】テスト40%、検定試験30%、課題・提出物20%、授業態度10%													
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者													
関連資格	サービス接遇検定3級													
関連科目	就職対策													
備考	原則、この科目はオンデマンド授業形式にて実施する。													
担当教員	藤本 美穂	実務経験		<input checked="" type="radio"/>										
実務内容	客室乗務員として6年勤務した実務経験を基に、敬語の使い方や履歴書・ビジネス文書の書き方等、ビジネスマナーに必要な知識を教授する。													
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります														
各回の展開														
回数	単元	内容												
1	オリエンテーション ビジネスマナーとは	授業の目的・到達目標について ビジネスマナーを学ぶ意味を知る												
2	サービススタッフの資質	サービス業界で求められているものについて												
3	サービススタッフの資質	必要とされる要件の復習・従業要件について												
4	専門知識・一般知識	サービス知識、従業知識、一般知識について												
5	対人技能(敬語)①	様々な接遇用語・敬語について												
6	対人技能(敬語)②	尊敬語・謙譲語・二重敬語について												
7	対人技能(一般的なマナー)	動作を行う際の基本・ポイントについて												
8	対人技能①	人間関係について												
9	対人技能②	一般的なマナー・接遇者としてのマナーについて												
10	対人技能③	話し方について												
11	実務技能①	問題処理について												
12	実務技能②	環境整備・金品管理について												
13	社交業務	社交儀礼の業務について												
14	総復習	1~13回までの総復習												
15	総合授業	総まとめ												

16	検定対策授業	復習と練習問題
17	検定対策授業	復習と練習問題
18	検定対策授業	復習と練習問題
19	検定対策授業	復習と練習問題
20	検定対策授業	復習と練習問題
21	検定対策授業	復習・検定問題の解答・解説
22	敬語・社会常識 SPI・時事問題 ①	就職活動に向け、筆記対策や履歴書について
23	社交文書 ①	縦書き・横書きレイアウトについて 文書の種類・文書の構成・頭語と結語・時候の挨拶・前文、末文の慣用句
24	社交文書 ②	就職活動における社交文書について
25	社交文書 ③	郵便の基礎知識～宛名の書き方、返信はがき、お礼状について
26	理想の美容従事者像	お客様から愛され・親しまれる美容従事者について
27	実技演習①「受付～誘導」	受付から誘導のロールプレイング演習
28	実技演習①「面接練習」 実技演習②「電話応対」 実技演習③「お茶出し」	面接試験の種類とチェックポイントについて 面接ロールプレイング
29		電話のかけ方・受け方、伝言メモ、予約電話のシミュレーション
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	カラー & ファッション		
必修選択	選択	(学則表記)	カラー & ファッション		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	ヘアメイク科	1	30
使用教材	新配色カード パーソナルカラーコーディネート検定テキスト パーソナルカラーコーディネート検定課題集			出版社	日本色研事業(株) クリエスクール

科目の基礎情報②

授業のねらい	ファッショの知識と共にヘアメイクとしてのトータルコーディネートとメイクとしての似合わせ等のカラー知識を学ぶ		
到達目標	様々なシーンでトータルコーディネートをする時に、しっかりととした理由付けが出来る		
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業態度等20%		
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	パーソナルカラーコーディネート検定(任意)		
関連科目	美容実習 I -C		
備考	原則、この科目はオンデマンド授業形式にて実施する。		
担当教員	末光 貴子	実務経験	○
実務内容	アパレル企画会社でファッショプランナーとして5年勤務をした実務経験を基に、色に関する知識や技法を教授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ファッショとメイクの関連について	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認 メイクとファッショの繋がり
2	服の歴史について①	服の成り立ち(古代～中世)
3	服の歴史について②	服の成り立ち(中世～近代)
4	コレクションについて①	コレクション開催4都市について コレクションの歴史
5	コレクションについて②	コレクションブランドについて(シーズンサイクルなど)
6	コレクションについて③	オートクチュール
7	コレクションについて④	プレタポルテ(レディース・メンズ)
8	コレクションについて⑤	コレクションの歴史と開催都市等の総まとめ
9	トレンドについて①	雑誌、SNSの見方と情報収集
10	トレンドについて②	トレンド研究を行う
11	ファッショデザイナー①	雑誌・SNSを使いデザイナーのトレンドを調べる
12	ファッショデザイナー②	雑誌・SNSを使いデザイナーのトレンドを調べる
13	ファッショデザイナー	発表されたコレクションを模写もしくはアレンジし、デザイン画(コンセプトシートの作成)
14	ファッショデザイナー	発表されたコレクションを模写もしくはアレンジし、デザイン画(コンセプトシートの作成)
15	総合授業	まとめを行う

16	パーソナルカラー	色の面白さやイメージを知る
17	色の連想	色彩心理前に自分の感じる色を考えてみる
18	色の連想色の特徴①	無彩色、有彩色、三属性、トーンについて
19	色の特徴②	無彩色、有彩色、三属性、トーンについて
20	色の心理的効果 慣用色名	心理的効果について 色を表す言葉について
21	配色①	色相、トーンについて
22	配色②	配色の応用、イメージ配色
23	色と光について	色の見える仕組み 視覚のメカニズム
24	対比と同化	対比と同化について
25	混色	混色の原理について
26	パーソナルカラーの基礎①	パーソナルカラーの基礎 セルフチェックを行う
27	パーソナルカラーの基礎②	パーソナルカラーの基礎 セルフチェックを行う
28	パーソナルカラーのアドバイス①	ファッション、ヘアカラー、メイク、ネイル、ブライダルについて
29	パーソナルカラーのアドバイス②	ファッション、ヘアカラー、メイク、ネイル、ブライダルについて
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラム		
必修選択	選択	(学則表記)	未来デザインプログラム		
開講		単位数		時間数	
年次	1年	学科	ヘアメイク科		1 30
使用教材	7つの習慣Jテキスト、夢のスケッチブック		出版社	FCEエデュケーション	

科目の基礎情報②

授業のねらい	三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」を体現する為の授業として、7つの習慣を体系的に学ぶことで、社会人／職業人としてあるべき人格を高め、主体性を發揮して物事にチャレンジできる人材に成長する		
到達目標	・「自立」と「相互依存」のためにはどんな考え方や行動習慣が必要なのかを理解する ・他者へのリーダーシップを醸成し、主体性を發揮できる様になる		
評価基準	小テスト／レポート:20% 授業態度:40% 提出物:40%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	なし		
関連科目	就職対策 I		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	園田 めぐみ	実務経験	○
実務内容	美容部員として2年、トータルビューティーサロン・美容室にてヘアメイクとして3年の勤務をした実務経験を基に、三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」を体現する為の授業を展開する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	専門学校へようこそ！	未来デザインプログラム授業への価値付けを行い、日誌を書くことの意味や今日から実行できる機会を考える
2	自制制限パラダイムを解除しよう！	自制制限パラダイムの概念を知り、自制制限パラダイムを取り払った状態で行動が継続できる様に考える
3	自信貯金箱	自信貯金箱の概念を理解すると共に、自分自身への約束を守る大切さを学ぶ
4	刺激と反応	刺激と反応の考え方を理解し、どの様な状況でも一時停止ボタンを使い主体的に判断・行動していくことの大切さを考える
5	言葉～ことだま～	言葉の持つ力や自分の言動が、描く未来や成功に繋がっていくことを学ぶ
6	影響の輪	集中すべき事、集中すべきでない事を明確にし、今自分がやるべき事、考えるべき事を優先順位を考えながら整理していく大切さを学ぶ
7	選んだ道と選ばなかった道	自分の選択は自分の気持ち次第であり、自分が決めたことに対して、最後までやり遂げる大切さを学ぶ
8	割れた窓の理論	規則を守る大切さ、重要性を理解する
9	人生のビジョン	10年後のなりたい自分を考えることにより、入学時に考えた「卒業時の姿」をより具体的に考える
10	自分の価値観を知る	なりたい姿を鮮明にすることの大切さを知り、自分の価値観を深堀りすることで、将来のなりたい姿を具体的にイメージできるプロセスを学ぶ
11	大切なことは？	なりたい自分になるために優先すべき「大切なこと」は、夢の実現や目標達成に直接関係することだけではなく、間接的に必要なこともありますを学ぶ
12	一番大切なことを優先する	スケジュールの立て方を学ぶ。自らが決意したことを実際の行動に移すことの大切さを学ぶ
13	時間管理のマトリクス	第2領域(緊急性はないが重要なこと)を優先したスケジュール管理について学ぶ
14	私的成功的振り返り	主に私的成功的習慣(前期授業内容)の復習(知識確認)
15	リーダーシップを発揮する	リーダーシップを発揮するためには、「主体性」が問われることを学ぶ

16	信頼貯金箱	信頼貯金箱の概念を理解し、周囲から信頼されるための考え方を学ぶ
17	Win-Winを考える	お互いがハッピーになれる方法を考えることの大切さを学ぶ
18	豊かさマインド	人を思いやることは自分自身のためでもあることを学ぶ
19	理解してから理解される	人の話の聞き方を考え、理解してから理解するという考え方があるということを学ぶ
20	相乗効果を發揮する	多様性や人と違いがあることに価値があることを学ぶ
21	自分を磨く	自分を磨くことの大切さ、学び続けることの大切さを考える
22	未来は大きく変えられる	人生は選択の連続あり、未来は自分の選択次第であることを学ぶ
23	人生ビジョンを見直そう	自らが立てたライフプランを現実的な視点から見つめ、必要な軌道修正を考える
24	未来マップを作ろう①	未来の自分の姿(仕事、家庭、趣味など)を写真や絵で表現するマップを作成し、将来の夢を実現するモチベーションを高めていく
25	未来マップを作ろう②	未来マップの発表を通して、自身の夢を実現する決意をする
26	感謝の心	人間関係構築/向上の基本である感謝の心について考える
27	7つの習慣授業の復習	7つの習慣の関連性を学ぶとともに、私的的成功が公的的成功に先立つことを理解する
28	未来デザインプログラムの振り返り	7つの習慣など、未来デザインプログラム授業で学んだことの復習(知識確認)
29	2年生に向けて①	1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える
30	2年生に向けて②	1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える

シラバス

科目の基礎情報①												
授業形態	演習	科目名	ベーシック・パーソナルメイク									
必修選択	選択	(学則表記)	ベーシック・パーソナルメイク									
年次	1年	学科	ヘアメイク科	単位数 3	時間数 90							
使用教材	メイク道具一式 メイクアップテキストベーシック(デジタルテキスト)		出版社	ユアサポート								
科目の基礎情報②												
授業のねらい	スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。											
到達目標	スキンケアからフルメイクまでの技術と理論を理解する。 人にメイクが出来るようになる。											
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%											
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者											
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(後期)											
関連科目												
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。											
担当教員	植木 美姫		実務経験		○							
実務内容	大手メーカーにて美容部員・メイクアップアーティストとして16年、教育指導者として5年勤務した実務経験を基に、スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を教授する。											
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります												
各回の展開												
回数	単元	内容										
1	オリエンテーション	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法)										
2	スキンケア	スキンケア(手順)、反復練習										
3	スキンケア/ベースメイク	スキンケア復習、 ベースメイク(手順)										
4	スキンケア/ベースメイク	スキンケアテスト10分 ファンデーション(手順の復習、質感・多色塗)										
5	ベースメイク	ベースメイク(手順の復習とタイムアップ)、ベースメイクの振り返り										
6	ベースメイク/ポイントメイク	ベースメイク(手順の復習とタイムアップ) ポイントメイク(アイシャドウ)										
7	セルフメイク	セルフメイク										
8	ポイントメイク	ポイントメイク(アイメイク、アイブロウ)										
9	ポイントメイク	ポイントメイク(アイメイク、アイブロウ)										
10	ポイントメイク	ポイントメイク(リップ、チーク、ハイ&ローライト)										
11	フルメイク	ベースメイクから、全てのポイントメイクを行う										
12	フルメイク	フルメイクテスト35分×2、ベーシックテクニックの振り返り										
13	ソフト	フルメイク(ソフト)										
14	シャープ	フルメイク(シャープ)										
15	総合授業	まとめを行う										

16	フルメイク/座学	検定試験に向けて試験概要の伝達 フルメイク(ソフト)
17	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(問題集にて検定対策を行う)
18	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(問題集にて検定対策を行う)
19	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(問題集にて検定対策を行う)
20	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(問題集にて検定対策を行う)
21	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(問題集にて検定対策を行う)
22	プレ検定	スキンケア10分・フルメイク34分行う テスト扱いとする
23	苦手克服	フルメイク(苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定筆記対策を行う) アドヴァンス検定(任意受験)対策
24	プロポーション	プロポーションについて導入、実践 アドヴァンス検定(任意受験)対策
25	錯覚	錯覚について導入、実践 アドヴァンス検定(任意受験)対策
26	色、質感	色、質感について導入、実践 アドヴァンス検定(任意受験)対策
27	色、質感	色、質感について導入、実践 アドヴァンス検定(任意受験)対策
28	フルメイク	フルメイクまとめテスト アドヴァンス検定(任意受験)対策
29	フルメイク	フルメイクまとめテスト／振り返り アドヴァンス検定(任意受験)対策
30	総合授業	まとめを行う アドヴァンス検定(任意受験)対策

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	テクニカルヘアメイク		
必修選択	選択	(学則表記)	テクニカルヘアメイク		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	ヘアメイク科		2 60
使用教材	メイク道具一式 ヘアアレンジテキスト		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	頭部の名称からヘアアレンジの基礎知識・現場での基礎技術を習得する。		
到達目標	ブラッシング・ピニングのヘアアレンジの基本テクニックを理解する。 編み込みやコテの使用等のヘアアレンジが出来る様になる。 就職活動に必要なセルフテクニックを知る。		
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%		
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	石田 祥子	実務経験	○
実務内容	ヘアサロンにて美容師として6年勤務をした実務経験を基に、現場で必要なヘアアレンジの基礎技術を教授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	シニヨン・土台作り／重ね夜会巻き	シニヨン・土台作り／夜会巻き導入
2	シニヨン・土台作り／重ね夜会巻き	シニヨン・土台作り／夜会巻き復習
3	重ね夜会巻き／本夜会巻き	夜会巻き復習
4	重ね夜会巻き／本夜会巻き	夜会巻きテスト、振り返り
5	カールアップ	カールアップ導入
6	スタイル作り①	カールアップを使ったスタイル作り
7	スタイル作り②	カールアップを使ったスタイル作り
8	ハーフアップ／ダウンスタイル①	普段や流行を取り入れたスタイル作り
9	ハーフアップ／ダウンスタイル②	普段や流行を取り入れたスタイル作り
10	スタイルチェンジ①	アップ→ハーフ→ダウンとチェンジ出来るスタイル作り
11	スタイルチェンジ②	アップ→ハーフ→ダウンとチェンジ出来るスタイル作り
12	新日本髪①	テーマに合わせたスタイル作りと振り返り
13	新日本髪②	テーマに合わせたスタイル作りと振り返り
14	新日本髪④	テーマに合わせたスタイル作りと振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	スチール撮影実習Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	スチール撮影実習Ⅰ		
年次	1年	学科	ヘアメイク科		単位数 1
使用教材	カメラ機材 筆記用具		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	【スチール撮影実習Ⅰ】写真のレイアウトやモデルのポージング・撮影場所によっての注意点等を理解し、実践力を身につける 【SNS・WEB・フォトスキル】美容業界の現状やニーズを把握し、SNS・WEB・フォトスキルを活用したマーケティング・集客を理解し実践できるようになる。		
到達目標	【スチール撮影実習Ⅰ】 色・光・影の出方によるメイク映えを知る 撮影中の注意事項を理解する 【SNS・WEB・フォトスキル】 顧客の共感や集客につながるメッセージや写真をTwitter、Instagram、LINE@などのSNSやWEBを通じて発信できるようになる。各コンテンツの基礎知識から運用ルールを把握、理解し、実践できるようにする。		
評価基準	【スチール撮影実習Ⅰ】テスト50%、提出物30% 授業意欲20% 【SNS・WEB・フォトスキル】テスト40%、提出物30% 授業態度等30%		
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目	カラー＆ファッショナ、美容実習Ⅰ-E、スチール撮影実習Ⅱ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	福田 ヨシツグ	実務経験	○
実務内容	数多くの芸能・タレントなどの撮影業務に従事していた実務経験を基に、撮影に必要な知識や技術を教授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【スチール撮影実習Ⅰ】

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 光と影について	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法)
2	写真のバランス・レイアウト	レイアウトやモデルのポージングについて
3	撮影光と影の使い方	オート(プログラムオート)で自由に撮影 カメラの構え方やレンズの使い方を知る
4	撮影光と影の使い方	オート(プログラムオート)で自由に撮影 露出補正を使いながら意図する明るさで撮る
5	カメラの使い方	撮影のフィードバックとレンズワークによる遠近感の変化 絞りやレンズワークによる背景のボケ方の説明
6	レフの使い方	室内でレフを使った撮影練習
7	作品作り①	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
8	作品作り②	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
9	スチール①	テーマに合わせた作品制作に向けてポージングやライティング等 準備・試し撮り
10	スチール②	テーマに合わせた作品制作に向けてポージングやライティング等 準備・試し撮り
11	スチール③	テーマに合わせた作品制作に向けてポージングやライティング等 準備・試し撮り
12	テスト	作品作りに合わせたテスト、振り返り
13	作品作り③	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
14	作品作り④	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
15	総合授業	まとめを行う

各回の展開【SNS・WEB・フォトスキル】		
回数	単元	内容
1	WEBマーケティングとSNS	SNSアカウント運用、広告、HP、LPの役割、ペルソナの設定などの基礎知識の講義
2	Instagramマーケティング	概要、成功事例、運用法則の講義、身近な良い活用事例の発表
3	Twitterマーケティング	概要、成功事例、運用法則の講義、身近な良い活用事例の発表
4	公式LINEアカウントマーケティング	概要、成功事例、運用法則の講義、身近な良い活用事例の発表
5	Youtubeマーケティング	概要、成功事例、運用法則の講義、身近な良い活用事例の発表
6	Facebook/Tiktokなどの各種SNSについて	概要、成功事例、運用法則の講義、身近な良い活用事例の発表
7	炎上防止と炎上があった際の対策	ケーススタディ
8	画像撮影、加工の基礎	講義+実践
9	写真の撮影について	基礎的な技法の講義と実践
10	動画の撮影について	基礎的な技法の講義と実践
11	ライティングの基礎	講義+実践(9回目、10回目で撮影した写真・動画を使ってSNSの更新を行う)
12	ランディングページ(LP)を作成しよう	SNSで人気のあるLPの紹介と簡単LP構築ツールを使用したLPの作成
13	WEB・SNS広告の概要と基本思想	講義(リスティング、SNS、GDN、YDN)それぞれの効果的な活用方法と特徴
14	WEB・SNS広告、SNSアカウントの分析方法	WEB・SNS広告、SNSアカウントの分析方法を学ぶ
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①												
授業形態	講義	科目名	就職対策I									
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策I									
開講				単位数	時間数							
年次	1年	学科	ヘアメイク科		1 30							
使用教材	就職ガイドBOOK		出版社	なし								
科目の基礎情報②												
授業のねらい	就職対策を通して、業界の動向を知るとともに、社会人としての一般常識などを身に付ける											
到達目標	就職活動に向けて準備・行動ができる状態											
評価基準	テスト:30% 提出物・課題:40% 授業態度:30%											
認定条件	出席が総時間数3分の2以上ある者 成績評価が2以上のもの											
関連資格												
関連科目												
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。											
担当教員	衛藤 薫		実務経験	<input checked="" type="radio"/>								
実務内容	美容師として12年勤務をした実務経験を基に、就職活動に必要な知識を教授する。											
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります												
各回の展開												
回数	単元	内容										
1	イントロダクション	2年間の就職活動の流れを知る										
2	就職とは？	就職を考える。社会人と学生の違い										
3	業界を知る	就職できる職業を知る。企業研究を知る。 ジョブ・カードキャリアプラン作成補助シートを用いて、業界研究を行う										
4	就職情報サイト・求人票について	就職情報サイトの使い方を知る。求人票の見方を学ぶ										
5	合否までの流れ	合否までの流れと就職に関する規定を知る										
6	エキスポ・就職ガイダンス	ピューティーエキスポスケジュール・就職ガイダンスとは何かを知る										
7	身嗜み①	美容業界の身だしなみを知る										
8	履歴書指導①	履歴書作成のルールを学ぶ・志望動機、自己PR以外の部分の書き方										
9	自己分析①	自己分析方法を学ぶ。ジョブ・カードキャリアプラン作成補助シートを用いて、自分史を作成する										
10	自己分析②自己PR	自己PR作成【実習先提出用】										
11	サロン見学について	夏休み中のサロン見学について理解する										
12	見学依頼の仕方	見学の以来の仕方を理解する、実践する										
13	夏休みサロン見学②	サロン見学に向けて										
14	サロン見学報告	1分間スピーチ。夏休み中の活動を報告。人前で話す事・簡潔にまとめる										
15	総合授業	総まとめ										

16	企業研究①	ジョブ・カード キャリアプラン作成補助シートを用いて、企業研究を行う
17	実習先	実習先を決める
18	志望動機①	志望動機の書き方を知る
19	志望動機②	志望動機を書いてみる
20	身嗜み②	身嗜みを実践する。就職用写真撮影に向けて
21	履歴書指導②	自己分析、企業研究をふまえて志望動機を考える
22	履歴書指導③	自己分析・企業研究をふまえて履歴書を作成する
23	履歴書指導④	自己分析・企業研究をふまえて履歴書を作成する
24	面接指導①	面接の重要性を把握し、入退室の流れから質問の受け答えまでを学ぶ
25	面接指導②	集団での面接練習①
26	面接指導③	集団での面接練習②
27	面接指導④	WEB会社説明会・面接について学ぶ
28	実習に向けて①	実習ケーススタディを考える
29	実習に向けて②	実習時の注意や確認
30	総合授業	総まとめ・春休み期間の就職活動について